

# 答 辞

厳しい冬の寒さを経て、ようやく春の暖かな日差しを感じられる今日ここに、このような盛大な「卒業証書授与式」を挙行していただき、卒業生一同、心より感謝致しております。

庭師という、自分にとって未知の分野を選ぶことに期待と不安を感じて入学しましたが、学ぶうちに、多くの技術や知識を会得し、とても充実した二年間になりました。

座学授業では、庭の歴史や設計製図、植物の生態やその管理、樹木や石材などの種類と選択方法を学びました。実習授業では、縄の縛り方やスコップの扱い方を始めとする基礎・基本から、木の移植や石の据え方など色々な職人の技を学びました。

また、建築職藝科との合同で、一つの敷地について庭と住宅を設計する「合科ワークショップ」、京都における有名寺院などの庭園を見学した「作品研修旅行」、自分達の手でつくった庭を展示して運営した職藝祭など、様々な思い出があります。

そして、二年間の集大成として、それぞれが庭を設計・積算し、選ばれた庭を全員で施工した卒業製作では、庭づくりの大変さをのり越えて、完成した時の喜びを仲間と共に感じる事ができました。

このような充実した二年間で、心身共に成長することができました。

これから、私達は庭師など、社会人として新たな人生が始まります。それぞれの道が違ってても、この職藝学院で学んだことは必ずや役に立つことと思います。

この二年間、影から支えてくれた両親、それぞれ目標を持ち、共に汗を流した仲間達、そしていつも温かく見守り、時には厳しくご指導いただいた先生方に、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

最後になりましたが、本日ご列席の御来賓各位、並びに諸先生方、皆様方の御健勝と御多幸を心よりお祈り申し上げますと共に、職藝学院のますますの御発展を祈念申し上げます、答辞といたします。

平成二十四年三月二十日

職藝学院 環境職藝科

卒業生代表

齊 藤 千 晃